

JP 10-305,059 A

(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

012247325 **Image available**

WPI Acc No: 1999-053432/ 199905

Packaging method of single sanitary napkin - involves wrapping of sanitary napkin with a cover sheet provided with four foldable creases to enable a three fold compaction

Patent Assignee: SHISEIDO CO LTD (SHIS)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10305059	A	19981117	JP 97134337	A	19970507	199905 B

Priority Applications (No Type Date): JP 97134337 A 19970507

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10305059	A	3	A61F-013/15		

Abstract (Basic): JP 10305059 A

NOVELTY - The packaging method involves wrapping a sanitary napkin (1) with a cover sheet (3). The cover sheet which is three times foldable has four parallel creases along its longitudinal direction. The first two folds, along the creases, cover, six and three parts of the total width of the cover sheet respectively.

USE - For packing winged sanitary napkin.

ADVANTAGE - Eliminates sealing. Unpacking is made simple by peeling off the tape. Prevents diffusion of dust and disposal of packing material is easy. Increases convenience during travel.

Dwg. 1/2

Derwent Class: D22; F07; P32

International Patent Class (Main): A61F-013/15

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-305059

(43) 公開日 平成10年(1998)11月17日

(51) Int. Cl.⁶

A 6 1 F 13/15

識別記号

F I

A 6 1 F 13/18

3 7 0

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-134337

(22) 出願日 平成9年(1997)5月7日

(71) 出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

(72) 発明者 那須 美恵子

神奈川県横浜市港北区新羽町1050 株式会

社資生堂第一リサーチセンター内

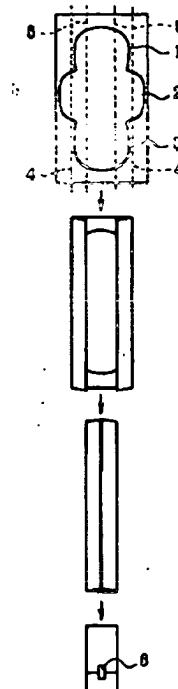
(74) 代理人 弁理士 竹内 裕

(54) 【発明の名称】 生理用ナプキンの個別包装方法

(57) 【要約】

【課題】 生理用ナプキンをカバーシートと共に小さな形状に折り畳み携行を便利にすると共に、折り畳むのみで内部にゴミや埃が進入するおそれがないようにすることが出来、且使用時にカバーシートから容易に取り出すことを可能としたものである。又、下着に止着するためのウィングを有し、このため全体が幅広になっている生理用ナプキンをカバーシート内に収納しつつ折り畳んで個別に包装することが出来るようにしたものである。

【解決手段】 生理用ナプキンの外面にカバーシートを重ねし、カバーシートの長手方向と平行に延びる4本の折曲線に沿って折り畳み、更に長手方向に三つ折りした後止着してなり、折曲線はカバーシートの幅の六分の一の位置に設けられる第一の折曲線と、幅の三分の一の位置に設けられる第二の折曲線とからなることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】生理用ナプキンの外面にカバーシートを重ねし、カバーシートの長手方向と平行に延びる4本の折曲線に沿って折り畳み、更に長手方向に三つ折りした後止着してなり、折曲線はカバーシートの幅の六分の一の位置に設けられる第一の折曲線と、幅の三分の一の位置に設けられる第二の折曲線とからなることを特徴とする生理用ナプキンの個別包装方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】この発明は、生理用ナプキンを個別に包装するための方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、周縁を封止して封筒状に形成された透水性のトップシートと非透水性のバックシート、及び両シートの間に配置される体液吸収体からなる生理用ナプキンは公知である。透水性トップシートは、着用者の肌に心地良い密着感を与える不織布等の材料で形成され、表面に排出された体液を透過して内部の体液吸収体に移動させることができる。バックシートは、吸収された体液の漏出を防止しうるポリエチレンシート等の樹脂シートで形成され、外面には生理用ナプキンを下着に取り付けるために粘着剤等の接着剤が塗布されている。生理用ナプキンの外面には、バックシートの外面に塗布された粘着剤等を保護すると共に、生理用ナプキンを個別に包装するために、剥離性を有したカバーシートが被覆されている。カバーシートは、薄く且柔軟なポリエチレン、ポリプロピレン等の樹脂フィルムからなり、生理用ナプキンを包み込むことが出来るように、生理用ナプキンより若干大きなサイズを有している。

【0003】生理用ナプキンは、カバーシートと共に長さ方向に三つ折り若しくは四つ折りして小さなサイズに折り畳み、複数個をワンパックとして箱やバッグに包装したり或は定期的に携帯するときに収納スペースが大きくなるようにしている。従来、かかる生理用ナプキンの個別包装についてはいくつかの提案がなされており、例えば特開平7-184953号公報、特開平8-81370号公報、特開平9-38132号公報、米国特許第4,556,146号公報等に開示されている。しかしながら、従来公知の生理用ナプキンの個別包装は、いずれも長手方向と直行する方向に三つ折り若しくは四つ折りしたものであり、長手方向に沿った側縁が外方に開放されているため、この側縁をシールする必要がある、製造工程が複雑となる問題があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、生理用ナプキンをカバーシートと共に小さな形状に折り畳み携帯を便利にすると共に、折り畳むのみで内部にゴミや埃が進入するおそれがないようにすることが出来、且使用時にカバーシートから容易に取り出すことを可能としたも

のである。又、下着に止着をするためのウィングを有し、このため全体が偏広になっている生理用ナプキンをカバーシート内に収納しつつ折り畳んで個別に包装することが出来るようにしたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためにこの発明が採った手段は、生理用ナプキンの外面にカバーシートを重ねし、カバーシートの長手方向と平行に延びる4本の折曲線に沿って折り畳み、更に長手方向に三つ折りした後止着してなり、折曲線はカバーシートの幅の六分の一の位置に設けられる第一の折曲線と、幅の三分の一の位置に設けられる第二の折曲線とからなることを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】この発明の好ましい実施の形態を、以下に詳細に説明する。図面を参照して、(1)はこの発明に係る生理用ナプキンを表し、透水性のトップシートと非透水性のバックシートとの間に体液吸収体を配置してなり、全体として略長方形の封筒形状に形成される。長手方向両側の略中央部には、生理用ナプキンを下着に止着するために折り返すことの出来るウィング部(2)が外方に延出されている。図示の生理用ナプキン(1)は、このウィング部(2)を有しているが、ウィング部を有しない生理用ナプキンであっても良いことは勿論である。(3)は、生理用ナプキン(1)を個別に包装するカバーシートであり、薄く且柔軟なポリエチレン、ポリプロピレン等の樹脂フィルムからなり、生理用ナプキンを包み込むことが出来るように、生理用ナプキン(1)より若干大きなサイズを有している。生理用ナプキン(1)のウィング部(2)の外面及び必要に応じてバックシートの外面には、生理用ナプキン(1)を下着に止着するための粘着剤が塗布されており、前記カバーシート(3)が粘着剤の保護シートとして剥離自在に接着している。かかるカバーシートを含む生理用ナプキンの構造は従来公知であり、トップシート、バックシート、吸収体並びにカバーシートの構成、材質等は特に限定されるものではなく、従来公知のいずれの構成、材質であっても良い。

【0007】この発明は、かかる生理用ナプキンにおいて生理用ナプキン(1)をカバーシート(3)と共に折り畳んで個別包装する方法に関する。図1を参照して、この発明は、生理用ナプキン(1)とカバーシート(3)をカバーシート(3)の長手方向側縁と平行な4本の折曲線(4)(5)に沿って折り畳むことを特徴とする。第一の折曲線(4)はカバーシート(3)の側縁から幅の六分の一の位置に設けられており、第二の折曲線(5)は幅の三分の一の位置に設けられている。先ず第一の折曲線(4)に沿ってカバーシート(3)をウィング部(2)と共に折り畳み、続いて第二の折曲線(5)に沿って折り畳む。これにより図1, 2に示すように、生理用ナプキンはカバーシートでくるまれた状態で幅狭に折り畳まれる。次に、この幅狭

に折り畳まれた生理用ナプキンを長手方向に三つ折りして止着テープ(6)で止着する。

【0008】このようにして折り畳まれ、止着された生理用ナプキンは、カバーシートで完全に包み込まれており外部に露出する部分がないため、シールする必要がなくなり個別包装が簡単になると共に、止着テープを外すのみで個別包装を解くことが可能となり、使用性が向上する。しかも、止着テープを外したとき、第二折曲線に沿って折り畳んだ部分が自己開放性で外方に開き、内部の生理用ナプキンが露出してくるため、生理用ナプキンをカバーシートから剥離して容易に取り出すことができる。剥離されたカバーシートは使用済の生理用ナプキンを包んで廃棄するのに使用することが出来る。

【0009】

【発明の効果】この発明によれば、生理用ナプキンはカバーシートで完全に包み込まれ、外部に露出する部分が

ないため、シールする必要がなくなり個別包装が簡単になると共に、止着テープを外すのみで個別包装を解くことが出来る。しかも止着テープを外すことにより、生理用ナプキンをカバーシートから剥離して容易に取り出すことが出来る。カバーシートは生理用ナプキンの廃棄用包み紙として使用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

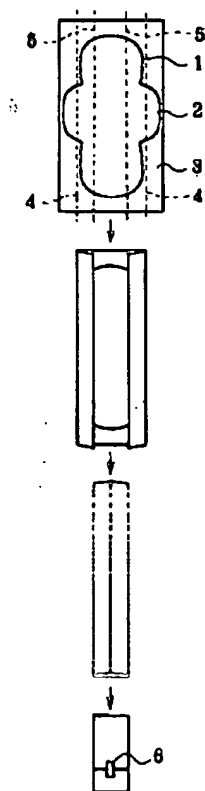
【図1】この発明の折り畳み工程を示す工程図

【図2】折り畳まれた生理用ナプキンの斜視図

【符号の説明】

- (1)生理用ナプキン
- (2)ウィング部
- (3)カバーシート
- (4)第一折曲線
- (5)第二折曲線
- (6)止着テープ

【図1】



【図2】

